

令和 4 年度
台東区地域包括支援センター事業計画書

	センター名	ページ
1	あさくさ地域包括支援センター	1
2	やなか地域包括支援センター	3
3	みのわ地域包括支援センター	5
4	くらまえ地域包括支援センター	7
5	まつがや地域包括支援センター	9
6	たいとう地域包括支援センター	1 1
7	ほうらい地域包括支援センター	1 3

令和 4 年度 [あさくさ] 地域包括支援センター事業計画書
 法人名 【 社会福祉法人 台東区社会福祉事業団 】

◇今年度の重点課題

①	総合相談支援業務	地域包括支援センターの周知が不足している
②	総合相談支援業務	災害時に在宅避難を希望する方が多いが、日頃の備えが十分でない
③	権利擁護業務	経済的困窮により様々な問題を抱えている方が多い

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目 標	数値	目標に向けた具体的な取組
①	地域包括支援センターの周知の強化	計画	地域での出前講座の実施や広報誌の配付等で地域包括支援センターの周知に努める。
		報告	
②	在宅避難についての防災意識の向上	計画	一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯に対し、訪問時にチラシ等を活用しながら、住宅用火災警報器・家具転倒防止器具等の設置、非常時の備蓄品を準備する等の働きかけを行う。
		報告	
③	生活困窮者の支援に対応できる機関との連携	計画	行政の生活困窮者支援担当やフードバンクなどの団体等、活用できる制度や社会資源を把握し、必要時に備えた連携を図っていく。
		報告	

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
 ※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

令和3年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	令和4年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士							その他	社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士			
1	常	40	○			○		○	10	○	○	1	常	40	○				○	○	11	○	○		
2	常	40	○			○		○	9	○	○	2	常	40	○			○		○	10	○	○		
3	常	40	○			○	○		6	○	○	3	常	40	○			○	○		7	○	○		
4	常	40		○		○			4	○	○	4	常	40		○		○			5	○	○		
5	常	40	○			○	○	○	14	○	○	5	常	40	○			○	○	○	15	○	○		
6	常	40		○	○				5	○	○	6	常	40		○	○				6	○	○		
7	常	40	○						2	○	○	7	常	40	○						3	○	○		
8	非	28				○		○	3		○	8	非	28					○		4		○		

その他の資格・・・NO. 8 柔道整復師

その他の資格・・・NO. 8 柔道整復師

◇年間計画表 エリア内の高齢者人口： 7,565人 (令和3年1月1日時点) あさくさ 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過(月)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
地域ケア個別会議	計画 課題となっているケースについて、各専門職や地域住民等と支援方法を検討する。	2回	←→			①	←→			②	←→			
主催	報告									①				
見守りネットワーク地区連絡会	計画 新型コロナウイルス感染防止対策を行い、関係機関との顔の見える関係を維持する。感染状況等に応じて開催方法を適宜検討しながら開催する。事例検討により、地域課題抽出の他、ネットワークの連携強化を図っていく。	2回 参加60人 (延べ)	←→		①	←→		①	←→		②	←→		
主催	報告													
街づくり懇談会	計画 街づくりに繋がることを意識し、住民及び関係機関から地域の実情を知り、共通の課題等についての意見発表を行う場とする。新型コロナウイルス感染防止対策を行い、対面での開催を基本とするが、感染状況によっては参加者を限定した開催や書面開催とする。	1回 参加50人 程度	←→			①	←→			①	←→			
主催	報告													
広報誌「笑顔の浅草」の発行	計画 各関係機関や高齢者の来所される場、民生委員等に配付し、情報提供や地域包括支援センターの周知に努める。	2回 各500部	←→		①	←→		②	←→		②	←→		
主催	報告													

<ケアマネジャー支援> エリア内の居宅介護支援事業所数： 10カ所 介護支援専門員数 34名 (令和4年1月1日時点)

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過(月)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
ケアマネジャーの集い	計画 新型コロナウイルス感染対策を行い、感染状況等を注視しながら開催方法を検討する。事例検討会・情報交換会・勉強会等を実施し、地域のケアマネジャーの資質向上と横のつながりを図る。	4回	←→			①準備・開催	←→			②準備・開催	←→			
主催・共催	報告													
	計画													
	報告													

<認知症総合支援事業> あさくさ 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過(月)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
認知症カフェ(喫茶YOU)	計画 【台東病院・みのわ地域包括支援センター】認知症に関する知識や様々な情報提供・啓発を目的とし台東病院、みのわ地域包括支援センターと連携して開催する。なお、開催にあたり、十分な感染防止策を行うこととする。	6回 60人 (延べ)	①	②	③	④	⑤	⑥	←→					
共催	報告													
認知症サポーター養成講座	計画 町会、地域のマンションや企業等に講座開催の働きかけ、新型コロナウイルス感染対策を行いながら対面での開催を目指す。開催に至らない場合も、認知症に関する情報発信、啓発活動を行っていく。	2回 40人 (延べ)	←→			①	←→			②	←→			
主催・共催	報告													
認知症初期集中支援推進事業	計画 事業の構成メンバーとして、対象者の把握から初期集中支援の実施を通し、適切な支援につなげる。	1ケース 以上	←→											
実施	報告													
介護者サロン(ほのほの集い)	計画 在宅介護をされている方や介護経験者が交流を持ち、体験や思いを分かち合い、相互の支え合いを支援するためのサロンを新型コロナウイルス感染防止対策を行った上で開催する。	12回 60人 (延べ)	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
主催	報告													

<計画外の取組>

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過(月)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	報告													
	報告													

令和 4 年度 [やなか] 地域包括支援センター事業計画書
 法人名 【 社会福祉法人 台東区社会福祉事業団 】

◇今年度の重点課題

①	総合相談支援業務	地域包括支援センターの支援を必要としている高齢者の実態把握
②	権利擁護業務	虐待や特殊詐欺、消費者被害が疑われる相談が増加している
③	総合相談支援業務	災害時活動危険度、火災危険度が高い地域である

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目 標	数値	目標に向けた具体的な取組
①	必要な支援を受けることが出来ずに、地域で孤立している高齢者や介護者の実態把握の強化	計画	民生委員や金融機関、医療機関、マンションの管理人等に加え、多くの高齢者が利用しているエリア内のコンビニエンスストア8か所に広報誌等を持参し、地域包括支援センターの役割を周知し、心配される高齢者について相談しやすい体制を整えていく。
		報告	
②	虐待や特殊詐欺等の被害が疑われる高齢者の早期発見、早期対応	計画	虐待防止の啓発や特殊詐欺等の最新の手法などの情報発信を警察や消費者相談窓口、金融機関等と連携を図りながら定期的に行い、高齢者の権利侵害の未然防止・拡大防止に努める。
		報告	
③	災害への対応力の強化と減災	計画	消防署、危機・災害対策課、社協、民生委員、町会など地域の様々な資源と連携し、地域の災害特性を把握する。特に独居高齢者については、家具転倒防止器具の設置等を積極的に働きかけ、消防署と連携を図り10名の防火防災診断を実施する。
		報告	

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
 ※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

令和3年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	令和4年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士							その他	社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士			
1	常	40			○		○		15	○	○	1	常	40				○		○		16	○	○	
2	常	40				○	○		4	○	○	2	常	40				○	○		5	○	○		
3	常	40	○						2	○	○	3	常	40	○						3	○	○		
4	常	40		○	○		○	○	6	○	○	4	常	40		○	○		○	○	7	○	○		
5	非	32				○	○		5		○	5	非	32				○	○		6		○		

その他の資格・・・

その他の資格・・・

◇年間計画表 エリア内の高齢者人口： 4,226人 (令和3年1月1日時点) やなか 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過(月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
地域ケア個別会議	計画 地域の高齢者が抱えている個別課題を、本人や地域住民、専門職が集まりお互いの立場を理解しながら課題解決に繋げていけるような会議運営を目指す。また個別課題から地域課題を導き出すことが出来るよう意識して取り組む。	2回					←	→	①		←	→	②			
主催	報告								①				②			
見守りネットワーク地区連絡会	計画 新任の民生委員や関係協力機関等と必要な情報を共有し、顔の見える関係づくりを継続していく。地区連絡会では包括の事業説明や実績報告を行い、事例検討を通じて地域課題について意見交換を積極的に行う機会を作る。	2回		←	→	①				←	→	②				
主催	報告					←	→	①				←	→	②		
広報誌の発行・ホームページの活用	計画 熱中症やインフルエンザ、詐欺等に関する情報を年4回テーマに沿って広報誌を作成し、回覧板や医療機関、薬局、民生委員、マンション管理人、金融機関、コンビニエンスストア等へ配布する。また、法人のホームページを活用した情報発信を行う。	4回	①			②				③				④		
主催	報告															
出前講座	計画 地域包括支援センターの役割や詐欺、消費者被害や防火防災診断の啓発、介護予防に関する相談などの講座等について、町会単位の集まりや民生委員からの要請に積極的に対応していく。	3回	←													
主催	報告															

<ケアマネジャー支援> エリア内の居宅介護支援事業所数： 3カ所 介護支援専門員数 7名 (令和4年1月1日時点)

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過(月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
ケアマネジャーの集い	計画 地域のケアマネジャーとの連携強化・資質向上を図るため事例検討会や勉強会、交流会などを開催する。	4回			①							②				
主催・共催	報告			←	→	③					←	→	④			
	計画															
	報告															

<認知症総合支援事業> やなか 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過(月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
認知症カフェ(カフェやなか)	計画 【土田病院 (精神科)】 感染対策のためソーシャルディスタンスが保てる谷中区民館での開催を中心として、当事者や介護者等が安心して参加できるように工夫する。内容については土田病院と連携し、体操や小物づくり、講義などを取り入れ開催する。	6回 (60人 延べ)	①		②		③		④		⑤		⑥			
共催	報告															
認知症サポーター養成講座	計画 町会、地域住民、各種機関、マンションや企業等へ講座開催の案内を配布し、感染対策を講じながら少人数で開催する。また、認知症(若年性認知症も含む)に関する情報発信を行う。	2回以上	←													
主催・共催	報告															
認知症初期集中支援推進事業	計画 初期集中支援チームの一員として、事業の対象となるケースを選定し、各機関と連携を図りながら適切な支援に繋げていく。	1ケース以上	←													
実施	報告								①							
認知症の実態把握・早期対応	計画 セキュリティが厳しく、高齢者の生活実態の把握が困難な高層マンション等に対して、管理人や管理会社、管理組合へ働きかけを行い実態把握・早期対応を行う。また多くの高齢者が利用しているコンビニエンスストアとの連携を強化していく。	適宜	←													
主催	報告															

<計画外の取組>

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過(月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
	報告															
	報告															

令和 4 年度 [みのわ] 地域包括支援センター事業計画書
 法人名 【 社会福祉法人 台東区社会福祉事業団 】

◇今年度の重点課題

① 認知症総合支援事業	若年性の方を含む認知症の方や家族介護者への支援が不足している。
② 権利擁護業務	継続して虐待の通報や対応が増えている。 虐待の発生を予防する取り組みが不足している。
③ 総合相談支援業務	災害時の避難対応や備蓄等、情報共有が不足している。 民生委員や見守り関係機関との連携強化が必要。

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目 標	数値	目標に向けた具体的な取組
①	認知症の方と家族介護者への支援を強化する	計画	認知症カフェ・みのわカフェ等を実施し、認知症の方や家族介護者が相談できる場を増やす。
		報告	
②	虐待防止の普及啓発と虐待発生の予防	計画	虐待防止の普及啓発を継続し、虐待に繋がる恐れのあるケースについて居宅介護支援事業所・サービス事業者等と共有し、早期対応を行う。
		報告	
③	災害への意識を高める	計画	広報誌の配布や見守りネットワーク地区連絡会を通して、民生委員や見守り関係者等との顔の見える関係作りを強化し、災害への意識を高める。
		報告	

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
 ※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

令和3年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	令和4年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士							その他	社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士			
1	常	40	○		○		○		11	○	○	1	常	40	○		○		○		12	○	○		
2	常	40	○				○		16	○	○	2	常	40	○				○		17	○	○		
3	常	40				○	○		4	○	○	3	常	40				○	○		5	○	○		
4	常	40		○		○			6	○	○	4	常	40		○		○			7	○	○		
5	常	40	○						6	○	○	5	常	40	○						7	○	○		
6	非	32	○						4	○	○	6	非	32	○						5	○	○		
7	非	24		○					13	○	○														

その他の資格・・・

その他の資格・・・

◇年間計画表 エリア内の高齢者人口： 6,657人 (令和3年1月1日時点) みのわ 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過(月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
地域ケア個別会議	個別課題のケース検討を通して、関係機関と地域課題を検討し、高齢者支援の充実を図る。	2ケース	① 計画・開催			② 計画・開催			① 評価			②				
主催	報告															
見守りネットワーク地区連絡会	新型コロナウイルス感染再拡大の状況に応じてオンラインもしくは集合型で開催し、顔の見える関係を強化し、地域の見守りや災害等について共有する。	2回	① 計画・開催			② 計画・開催										
主催	報告															
広報誌の配布・ホームページによる周知活動	広報誌の配布やホームページの更新により、各事業の案内や消費者被害・防災など最新情報の周知や啓発を行う。	3回配布 + ホームページ	①		②		③		ホームページ更新							
主催	報告															
	計画															
	報告															

<ケアマネジャー支援> エリア内の居宅介護支援事業所数： 9カ所 介護支援専門員数 24名 (令和4年1月1日時点)

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過(月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
ケアマネジャーの集い	主任CM分科会と連携し、新型コロナウイルス感染再拡大の状況に応じてオンラインもしくは集合型で事例検討会を実施する。また専門職との連携強化を目的として7包括合同で研修を実施する。	4回	①		②		③ 7包括合同		④ 7包括合同							
主催・共催	報告															
	計画															
	報告															

<認知症総合支援事業> みのわ 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過(月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
認知症カフェ(喫茶YOU)	【台東病院・あさくさ地域包括支援センター】認知症に関する知識や様々な情報提供・啓発を目的とし、台東病院・あさくさ地域包括支援センターと連携して開催する。なお開催にあたり、十分な感染防止策を行うこととする。	6回 60人	①		②		③		④		⑤		⑥			
共催	報告															
認知症カフェ(みのわかフェ)	認知症家族介護者に対して、近隣の居宅介護支援事業所や通所介護サービス事業所等と連携を図り、気軽に相談できる場を提供する。また近隣のグループホームにも協力を仰ぎながら実施する。なお開催にあたり、十分な感染防止策を行うこととする。	2回	①			②										
主催	報告															
認知症サポーター養成講座	町会や各事業所等へ講座の案内を行ない、新型コロナウイルス感染再拡大の状況に応じてオンラインもしくは集合型で開催する。	4回	←————→													
主催・共催	報告															
認知症の普及啓発活動	地域へ働きかけを行ない、ケアパスの配布や認知症予防に関する出前講座を開催する。新型コロナウイルス感染再拡大の状況に応じてオンラインもしくは集合型で実施する。	2回	←————→													
主催・共催	報告															
認知症初期集中支援事業	認知症の疑いのある方に対して訪問支援による早期対応を行ない、適切な医療や介護に繋げる。	1ケース	←————→													
実施	報告															

<計画外の取組>

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過(月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
	報告															
	報告															

令和 4 年度 [くらまえ] 地域包括支援センター事業計画書
 法人名 【 社会福祉法人 東京援護協会 】

◇今年度の重点課題

①	総合相談支援業務	独居高齢者に関する相談が増加している
②	認知症総合支援事業	認知症に関する相談が増えている

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目 標	数値	目標に向けた具体的な取組
①	独居高齢者の実態把握と地域包括支援センターの周知	計画	相談履歴や見守り名簿、民生委員との連携を通じて独居高齢者の実態把握のために訪問を行い、必要な支援を早期に受けられるよう地域包括支援センターの周知・支援を行っていく。
		報告	
②	認知症高齢者の早期発見・早期対応	計画	初期集中支援推進事業を活用し、認知症地域支援推進員を中心に早期発見・早期対応することで、地域で暮らし続けるために必要な支援につなげる。窓口相談、出前講座等で認知症ケアパス等を活用。早期対応の必要性を周知する。
		報告	
		計画	
		報告	

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
 ※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

令和3年度 No.	常勤(常) 非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	令和4年度 No.	常勤(常) 非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士							その他	社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士			
1	常	40	○			○	○		12	○	○	1	常	40	○				○	○		13	○	○	
2	常	40	○			○	○		10	○	○	2	常	40	○			○	○		11	○	○		
3	常	40	○				○		6	○	○	3	常	40	○			○	○		7	○	○		
4	常	40	○			○			5	○	○	4	常	40	○			○			6	○	○		
5	常	40			○		○		6	○	○	5	常	40			○		○		7	○	○		
6	非	40				○			5		○	6	非	40				○			6		○		

その他の資格・・・

その他の資格・・・

◇年間計画表 エリア内の高齢者人口： 7,506人 (令和3年1月1日時点) くらまえ 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過(月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
地域ケア個別会議	計画 新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら、個別のケースを各専門職からの視点で検討を行う。また、関係機関や地域との連携・情報共有を深める場とする。	2回			←→① 準備 開催								←→② 準備 開催			
主催	報告															
見守りネットワーク地区連絡会	計画 民生委員等の関係機関と協力しながら地域を訪問し、見守りが必要な方の早期発見に努める。啓発物品を活用し、熱中症予防の周知を強化。感染防止対策を行い、状況に応じて書面開催や少人数での開催とする。	2回		←→① 準備 開催									←→② 準備 開催			
主催	報告															
出張相談(えがおの集い)	計画 感染防止対策を行いながら、老人福祉館で地域の高齢者の生活に役立つ講話を実施。必要に応じて出張相談や介護認定・介護サービスへのつなぎを行い、地域包括支援センターの役割を周知していく。	4回	①	←→② 準備	←→③ 準備				←→④ 準備	←→⑤ 準備						
共催	報告															
広報誌の発行	計画 健康に関する話題や介護保険・区のサービス等の情報発信を行い、訪問時等で地域包括支援センターの周知に活用。関係機関や窓口で配布する。	2回 200部		←→① 準備 発行							←→② 準備 発行					
主催	報告															

<ケアマネジャー支援> エリア内の居宅介護支援事業所数： 12カ所 介護支援専門員数 31名 (令和4年1月1日時点)

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過(月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
ケアマネジャーの集い	計画 感染防止対策を行って事例検討会を実施、スキルアップを図る。また、各専門職と相互理解を深め、連携を強化する為の研修を開催する(2回は7包括合同開催。感染状況により、WEB開催とする)	4回		←→① 準備 開催					←→② 準備 開催				←→③ 合同 準備	←→④ 合同 準備		
主催・共催	報告															
	計画															
	報告															

<認知症総合支援事業> くらまえ 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過(月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
認知症カフェ(くらまえカフェ)	計画 【東京トータルライフクリニック】東京トータルライフクリニックと共催、2ヶ月に1回の開催予定。より多くの方に安心して参加頂けるよう、案内方法(電話・手紙・チラシ)を工夫する。安心して過ごせる場として、楽しく参加して頂ける企画を検討。引き続き感染防止対策をとりながら、安心して集える場として提供していく。	6回 約70人	準備①	準備②	準備③	準備④	準備⑤	準備⑥								
共催	報告															
認知症に関する普及啓発活動	計画 地域住民・企業・学校等に対し、認知症サポーター養成講座を三密を避けた場で開催。地域のシニアクラブや町会等の会合を活用し、認知症に対する理解を広めていけるよう、認知症講座(出前講座)や相談会等を企画・実施していく。	3回		←→①		←→②						←→③				
主催	報告															
認知症高齢者の早期発見・早期対応	計画 認知症高齢者の早期発見のため、地域住民・民生委員・町会・シニアクラブ・集合住宅の管理人・関係機関等と連携し、認知症の疑いがある高齢者の実態把握に努める。また必要に応じ個別支援を開始する。	通年														
主催	報告															
認知症初期集中支援推進事業	計画 相談や実態把握を行う中で、事業の対象と思われるケースについて早期発見・早期対応ができるように支援を行う。対象者の把握から、初期集中支援の実施を通して、各機関と連携し、適切な支援に早期に繋げていく。	1ケース以上														
実施	報告															

<計画外の取組>

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過(月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
	報告															
	報告															

令和 4 年度 [まつがや] 地域包括支援センター事業計画書
 法人名 【 社会福祉法人 東京援護協会 】

◇今年度の重点課題

①	生活支援体制整備事業	高齢者の問題が早期に発見しづらい。
②	総合事業の推進に関する事業	運動機能低下や認知症機能低下を感じる高齢者が増えている。
③	権利擁護業務	新型コロナウイルス感染症の影響で不安を抱える高齢者、家族が増加している。

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目 標	数値	目標に向けた具体的な取組
①	地域包括支援センターに気軽に相談できるようにする。	計画	高齢者の異変に気付きやすい環境にいる方等に地域包括支援センターの広報誌等を配布して周知活動や情報収集を行う。
		報告	
②	高齢者の介護予防の機会を増やす。	計画	高齢者へ「健康体操DVD」等を配布や紹介を行い、シニアクラブ等に介護予防の運動の機会や小規模の集まりのきっかけをつくる。
		報告	
③	虐待の早期発見につなげる。	計画	介護事業所向けに、資料を作成して虐待啓発や周知活動を行う。
		報告	

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
 ※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

令和3年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	令和4年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士							その他	社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士			
1	常	40	○		○			○	9	○	○	1	常	40	○			○		○	10	○	○		
2	常	40	○		○				13	○	○	2	常	40	○		○		○		14	○	○		
3	常	40		○	○			○	15	○	○	3	常	40		○	○			○	16	○	○		
4	常	40	○					○	6	○	○	4	常	40	○				○		7	○	○		
5	常	40						○	12	○	○	5	常	40				○		○	13	○	○		
6	常	40						○	1	○	○	6	常	40				○		○	2	○	○		
7	非	32						○	9	○	○	7	非	32					○		10	○	○		
8	非	32	○						1	○	○	8	非	32	○				○		2	○	○		
9												9													
10												10													

その他の資格・・・3助産師5幼稚園教諭6栄養士

その他の資格・・・3助産師5幼稚園教諭6栄養士

◇年間計画表 エリア内の高齢者人口： 8,167人 (令和3年1月1日時点) まつがや 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過(月)														
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
地域ケア個別会議	計画 個別の課題等を話し合い、その方らしい生活と安全を保ち住み慣れた地域で生活を送ることが出来るよう支援に繋げる。	2回				①						②					
主催	報告																
見守りネットワーク地区連絡会	計画 ひとり暮らし等の高齢者の見守りを行うと共に関係機関と災害等の情報共有や、高齢者実態把握調査を踏まえた意見交換等を行う。新型コロナウイルス感染防止対策の為、状況により書面開催を検討する。	2回							①						②		
主催	報告																
出張相談・出前講座	計画 区民施設等に出張し、地域包括支援センターの周知活動と介護や認知症予防、権利擁護等見守りに関する情報提供を行う。新型コロナウイルス感染防止対策を行い状況によっては書面で情報提供を行う。	10回	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩					
主催・共催	報告																
サロン(ほっとルーム)	計画 地域住民が介護や生活について自由に意見交換できる場として提供する。新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底し、対面での開催とするが、状況によっては書面開催とする。	5回		①	②	③	④	⑤									
主催	報告																

<ケアマネジャー支援> エリア内の居宅介護支援事業所数： 14カ所 介護支援専門員数 43名 (令和4年1月1日時点)

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過(月)														
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
ケアマネジャーの集い	計画 地域のケアマネジャーに対し情報提供や社会資源の活用について共有を行う。同・他職種との交流や事例や虐待予防の検討の場とする。新型コロナウイルス感染症予防の為少人数の集まりや書面開催で行う。	4回		①						②							
主催・共催	報告																
	計画																
	報告																

<認知症総合支援事業> まつがや 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過(月)														
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
認知症カフェ(オレンジカフェ)	計画 【永寿総合病院認知症疾患医療センター・たいとう地域包括支援センター】 台東区新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインに準じ開催する。認知症の方、家族、地域の方や専門家が集い認知症の理解を深め認知症であっても安心して暮らせる地域づくりを行う。	6回		①		②		③		④		⑤		⑥			
共催	報告																
認知症の普及啓発(認知症サポーター養成講座)	計画 台東区新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインに準じながら、シニアクラブ等にチラシを配る機会を多く作りPR活動を行う。また、認知症サポーター養成講座、予防教室を行い認知症予防の生活、支える地域についての知識を深めていく。	4回		①		②				③		④					
主催	報告																
台東区の社会資源の考察	計画 月1回の活動会議を通じて認知症支援推進員がアンケート分析、情報交換、他区の活動調査など台東区にどのような社会資源が必要か考察し他の組織と協働しながら検討していく。	12回	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫			
共催	報告																
認知症初期集中支援推進事業	計画 総合相談、訪問、見守りネットワーク地区連絡会、シニアクラブ等を通して認知症地域支援推進員のPRを行い認知症で困っている方の早期発見に努める。実態把握後、区役所担当者や相談し速やかに医療・介護をつなげる。	1事例以上															
共催	報告																

<計画外の取組>

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過(月)														
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
介護予防	報告 窓口で月1回介護予防に関するDVDを視聴できる場を作り介護予防への取り組みのきっかけとする。	10回		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩				
	報告																

令和 4 年度 [たいとう] 地域包括支援センター事業計画書
 法人名 【 社会福祉法人 聖風会 】

◇今年度の重点課題

① 総合相談支援業務	高齢者の総合相談窓口としての周知が不足している
② 生活支援体制整備事業	身体状況により、外出が難しい高齢者の買物手段の情報が不足している。ネットスーパー等を活用した、あらたな買物支援の方法を検討が必要。
③ 権利擁護業務	後見候補者選定について、個別ケースにあわせた各専門職団体への振り分けがおこなえていない。

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目 標	数値	目標に向けた具体的な取組
①	地域包括支援センターの周知	計画	広報誌 4回 講座2回
		報告	
②	買物が困難な高齢者が利用できる支援対策	計画	-
		報告	
③	成年後見制度の利用促進	計画	-
		報告	

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
 ※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

令和3年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	令和4年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士							その他	社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士				介護福祉士
1	常	40	○			○				12	○	○	1	常	40	○				○				13	○	○
2	常	40	○		○		○			9	○	○	2	常	40	○			○	○	○			10	○	○
3	常	40	○			○	○	○		6	○	○	3	常	40	○			○	○	○			7	○	○
4	常	40	○			○	○			4	○	○	4	常	40	○			○	○				5	○	○
5	常	40		○		○				1	○	○	5	常	40		○		○					2	○	○
6	常	40				○		○	○	3	○	○	6	常	40				○	○	○			4	○	○

その他の資格・・・

その他の資格・・・

◇年間計画表 エリア内の高齢者人口： 5,670人 (令和3年1月1日時点) たいとう 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
地域ケア個別会議	新型コロナウイルス感染症対策マニュアルに基づき個別支援と地域ネットワークづくりなどを目的とした自立支援・介護予防に向けた地域ケア個別会議2ケース、地域ケア個別会議2ケースを開催する。	4ケース	←①		←②		←③		←④							
主催	報告															
見守りネットワーク地区連絡会	前年度、新たに加わった見守り協力店のフォローアップを行いつつ、各機関へ情報提供や見守り活動時の注意点等を会議や紙面で伝えていく。	2回 10~15人程度		←①					←②							
主催	報告															
広報誌の発行	関係機関・地域住民向けに包括の周知とネットワーク作りのため、医療機関・民生委員等に配布する。	500部 ×4回	①	←②		←③		←④								
主催	報告															
買い物支援	インターネットでの買物方法について、講習会を開催する。	2回 5~10人程度	←準備・開催													
共催	報告															

<ケアマネジャー支援> エリア内の居宅介護支援事業所数： 7カ所 介護支援専門員数 23名 (令和4年1月1日時点)

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
ケアマネジャーの集い	新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインに基づき、コロナの感染状況を見て開催方法を検討し、情報提供や研修を開催する。	4回	←①		←②		←③		←④							
主催・共済	報告															
たいとうカフェ	地域のケアマネジャー等から介護者のニーズを情報収集したうえで、包括内で検討し、家族同士の交流の場を作る。介護の相談、情報交換、勉強会などを行う。	1回	←情報収集								①					
主催	報告															

<認知症総合支援事業>

たいとう 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
認知症カフェ(オレンジカフェ)	【永寿総合病院認知症疾患センター、まつがや地域包括支援センター】 カフェを年6回永寿総合病院にて開催予定。認知症の方、ご家族が気軽に語り合える交流の場や認知症の理解を深める学びの機会を持っていただく。	6回	←①		←②		←③		←④		←⑤		←⑥			
共催	報告															
認知症サポーター養成講座	みまもりサポーター養成講座や介護予防講座などが併せて行える体制を維持し、講座の依頼は積極的に受け、地域の方の認知症の理解を深める。	2回	←													
主催	報告															
初期集中支援推進事業	認知症の方が住み慣れた地域で生活を続けられるよう、医療や介護サービスなど適切な支援に繋げる。	1事例	←													
主催	報告															
若年性認知症支援体制の検討	若年性認知症支援のための新たな社会的資源の構築等、具体策を検討する。	通年	←													
共催	報告															

<計画外の取組>

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
	報告															
	報告															

令和 4 年度 [ほうらい] 地域包括支援センター事業計画書
 法人名 【 社会福祉法人 清峰会 】

◇今年度の重点課題

① 包括的・継続的 ケアマネジメント支援 業務	困難事例を抱えて悩んでいたり、ネットワーク構築が難しいと感じている 介護支援専門員が多い
② 総合事業の推進に関する 事業	新型コロナウイルスの影響により、介護予防の需要が高まっている。

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目 標	数値	目標に向けた具体的な取組
①	ケアマネジャーの集いを主任介護支援専門員分科会と共催する	計画	主任介護支援専門員の分科会と協力し、ケアマネジャーの集いを開催し、困難事例の共有や多職種との地域ネットワークづくりを行う。
		報告	
②	地域住民に対して通いの場づくりを働きかける	計画	区と東京都介護予防・フレイル予防推進センターと連携し、ほうらい地域の特性を活かした通いの場づくりへのアプローチを行う。
		報告	
		計画	
		報告	

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
 ※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

令和3年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	令和4年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2			
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士							その他	社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士				介護福祉士	その他	
1	常	40	○							9	○	○	1	常	40	○								10	○	○		
2	常	40	○			○		○	○	8	○	○	2	常	40	○				○		○	○		9	○	○	
3	常	40			○					8	○	○	3	常	40				○						9	○	○	
4	常	40	○					○		3	○	○	4	常	40	○						○			4	○	○	
5	常	40		○	○		○			4	○	○	5	常	40		○	○		○					5	○	○	

その他の資格・・・

その他の資格・・・

◇年間計画表 エリア内の高齢者人口： 6,224人 (令和3年1月1日時点) ほうらい 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
地域ケア個別会議	年2回以上開催する事で、ほうらい地域での生活課題の発見や、社会資源の把握、開発につなげる。開催方法は新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し開催する。	2回	←→ ① 準備・開催			←→ ② 準備・開催						① 評価				
主催	報告															
見守りネットワーク地区連絡会	コロナ禍における見守りについて関係者と意見交換や事例検討を行う。開催方法は感染状況を考慮し適切な方法を選択していく。	2回 参加者50人 (延べ)	←→ ① 準備・開催			←→ ② 準備・開催						① 報告				
主催	報告															
介護予防の推進	区と東京都介護予防・フレイル予防推進センターと連携し、地域データを分析・活用しながら、ほうらい地域の特性を活かした通いの場づくりの検討会議を行う。	-	←→ ① 随時													
共催	報告															
	計画															
	報告															

<ケアマネジャー支援> エリア内の居宅介護支援事業所数： 4カ所 介護支援専門員数 8名 (令和4年1月1日時点)

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
ケアマネジャーの集い	地域のケアマネジャーとの意見交換の場や情報提供として開催 (2回) 包括合同のケアマネジャーの集いの開催 (2回)	4回	①			②						④				
主催・共催	報告		①② ほうらい			③④ 包括合同										
地域連携を勧める会	山谷地域で活動しているNPO団体や医療機関、介護事業所と共催で研修会や意見交換会を開き地域のネットワークを強化していく。	3回	←→ ① 企画会議			←→ ② 企画会議						←→ ③ 企画会議				
共催	報告															

<認知症総合支援事業> ほうらい 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
認知症カフェ (あさがおカフェ)	【浅草病院】認知症の本人と家族、地域の方が気軽に参加できる場を浅草病院と共催で運営する。浅草病院のPTによる体操、OTによる作業療法など強みを活かした取り組みを行う。新型コロナ流行状況に応じて適切な感染対策を行う。	6回 参加者60人 (延べ)	←→ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥													
共催	報告															
認知症サポーター養成講座	町会や職域など様々な立場の方に対して講座を実施する。自身や家族の物忘れが心配な方が区民向け認知症セミナーに参加し、実態把握に繋がるよう積極的に開催する。新型コロナ流行状況に応じて適切な実施方法を選択する。	4回 参加者60人 (延べ)	←→ ① ② ③ ④													
主催・共催	報告															
認知症初期集中支援推進事業	初期集中支援チームのチーム員として、対象者の把握から訪問支援を実施する。認知症のケースを推進員と他の職員で情報共有し、適切なケース選定を行う。	1ケース以上	←→ ①													
実施	報告															
若年性認知症の人とその家族の居場所づくり	行政や他包括の認知症地域支援推進員、認知症疾患医療センター等と連携し、若年性認知症の方とその家族の居場所づくりについて具体策を検討する。	12回	←→ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫													
共催	報告															

<計画外の取組>

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
家族介護者 (認知症) 向けストレスケアプログラムの実施	認知行動療法を活用したストレスケアプログラムを、台東区で活動している心理専門職等と連携して実施する。準備・実施は、実証研究を行っている研究者のバックアップを受けながら行う。	1回 参加者6名	←→ 準備						←→ 実施							
	報告															